

市議会 いせさき

平成21年1月1日 No.20



北部環状けやき通り

新年のごあいさつ



議長
矢島 征司

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、皆様の御健康と御繁栄を心からお慶び申し上げます。
また、平素は市議会の運営に對しまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厳しい社会情勢が続く中、市議会といたしましては、市民の負託に応え、さらなる市政発展に邁進する所存でございます。

どうぞ本年も変わらぬ御支援・御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。

第6回定例会

12月3日～17日（15日間）

一般質問	2～8
成立した議案	9～10
第5回臨時会	11
請願・陳情	12

総合計画について

伊勢崎クラブ

野田 文雄

質問

矢内市長は、平成の大合併をなし遂げ、新市の初代市長として20万市民の期待にこたえるべく、民主的な市政の運営に努められてきました。本市は特例市に移行し、地域の特色や個性を生かしたまちづくりの真価が問われる中、20万市民が健康で安心して暮らせる県央都市いせさを将来都市像として掲げ、総合計画を策定しました。矢内市政の方向性を示す総合計画の位

置づけは、住民福祉の向上を図る上で極めて重要と考えますが、計画の実施状況及び主要施策の現状について伺います。また、過日、市長から行政は継続かどうかはありますが、市政を継続するための今後の課題についてお聞きします。

答弁

本市は平成17年1月1日に合併し、新市の一体性の確立と均衡ある発展を常に念頭に置き、伸び行く元気なまち伊勢崎市の実現に取り組んできました。平成19年4月1日には特例市に移行し、まちづくりのよりどころとなる総合計画を策定しました。

計画における各種施策としては、地域に開かれたコミュニティ・スクールとして北小学校を改築し、併設する形

で赤石薬舎と赤石の杜を整備しました。また、東地区にオープンしたスマーク伊勢崎に市民サービスセンターあずまを開設しました。さらに、北関東自動車道波志江PAスマートICの設置と全国都市緑化フェアの開催等に力を注いできました。

現在、力を入れて取り組んでいる主要事業としては、四ツ葉学園中等教育学校の開校準備、市民病院がん診療総合センターの増改築、伊勢崎駅周辺中心市街地整備事業、東毛広域幹線道路整備事業、新規工業団地造成事業がありますが、総合計画の将来都市像に一步でも近づくよう努力しています。

また、前期基本計画の成果を検証するため、市民の行政サービス等に対す

る満足度や重要度を調べ、市民ニーズの把握に努め、後期基本計画の策定を進めることが第一と考えています。



住民福祉の向上を

スマーク開業に伴う影響について

伊勢崎クラブ

須永 武久

質問

北関東自動車道開通の影響で、周辺地域は目まぐるしく発展しており、11月18日にはスマーク伊勢崎がオープンし、県内最多となる185店舗が入店しているとのこと。毎年人口がふえている本市の経済活性化に大いに役立つと考えられることから、市税に対する影響と開店に伴う雇用の状況について、また、スマーク内に開設された市民サービスセンターあずまの利用

状況と業務内容についてお聞きします。さらに、周辺道路整備及び排水対策の現状についてもお聞きします。

答弁

本市における市税の影響額は、個人市民税では新たな雇用の創出により約8000万円、法人市民税ではテナント等の出店で約3000万円、また、固定資産税では約9000万円を見込み、合計で約2億円程度の増収を推計しています。また、雇用状況については、スマークがマスコミに発表したところによりますと、スマーク全体で2800人の雇用者があり、おおよそ6割が地元から採用されたのではないかと推測しています。

次に、市民サービスセンターあずまの利用状況については、11月18日に開



周辺の整備と市民サービスの充実を

設してから11月末日までの実績は、住民票及び印鑑証明等の請求、印鑑登録、所得証明等の税証明など合計274件

の取り扱いがありました。また、業務としては、戸籍謄抄本、住民票、印鑑登録、印鑑証明等の発行に加え、所得証明、評価証明、納税証明などの税証明の発行や、市県民税、固定資産税、国民健康保険税などの収納業務も取り扱っています。

周辺道路整備については、車道部の改良と歩道新設の整備や交差点改良などを行い、雑排水対策では、利根川佐波流域下水道への接続による環境負荷の軽減とともに下水道施設の効率的な運用が図られました。

その他の質問

・工業団地について
・農業を取り巻く環境と情勢について

平成21年度予算編成方針について

伊勢崎クラブ

金井 秋雄

質問

平成21年度予算は新市長のもとで最終的な予算編成が行われますが、厳しい財政状況の中で、財政の健全性に留意しながらの大きな予算編成になると思います。その予算規模の見通しについてお聞きします。

次に、総合計画に基づいて事業が組まれると考えますが、重点施策の主な事業についてお聞きします。

また、事業を実施していく上で、合

併特例債の活用が重要となってくると思いますが、その発行に対する考え方と累積発行見込み額及び今後の公債費比率の推移についてお伺いします。

答弁

通常予算が組めたと仮定しますと、本年度当初予算と同規模の編成は極めて難しいと推察していますが、新市長の考えにスムーズに対応できるよう準備をしたいと考えています。

次に、主な事業としては、東毛広域幹線道路の整備や、各地域における幹線道路の整備に取り組んできました。

また、鉄道連続立体交差事業は、JR分が平成23年度に、東武鉄道分が平成26年度に完成予定となっています。さらに、四ツ葉学園中等教育学校の校舎建設事業や庁舎改修事業も完成を目指

しています。これらの主要事業については、継続して取り組んでいただきたいと考えています。

次に、合併特例債は、平成17年度から平成20年12月補正予算までの事業数は31事業に及び、累積発行見込み額は81億6030万円となり、今後も効率的な活用が必要と考えています。また、平成19年度の決算で実質公債費比率は9・2%でしたが、平成26年度で11・4%となり、その後は下がるものと見込んでいます。財政健全性を図るバロメーターの一つである実質公債費比率に留意しながら事業の推進を図ることが重要であると考えており、これらについては新市長にも引き継いでいただきたいと考えています。

地域医療体制の整備・充実について

伊勢崎クラブ

田島 勉

質問

近年、開業医の数がふえ、より専門化したことで市民にとって安心感が増したと思います。また、地域開業医と市民病院や伊勢崎佐波医師会病院の連携により、医師の疲弊を軽減することで、医師不足の解消にもつながると考えます。そこで、医療機関の連携についてお聞きします。

次に、交通網の発達や、救急救命士の増員などにより、目覚ましく救命率

も上がっていると思われませんが、広域間における救急体制の充実についてお伺いします。

また、前橋赤十字病院と群大病院において、時間外診療での軽症患者からの料金徴収が報道されましたが、市民病院での特別医療制度の導入についての考えをお伺いします。

答弁

市民病院は地域の中核病院として高度医療を担っており、平成14年に地域医療連携室を設置し、地域医療機関との連携を図ってきました。今後、初期の症状を診療する身近なかかりつけ医を持つことの重要性を啓発しながら、病院や診療所が特性を生かし、役割分担と連携強化を推進します。

次に、救急体制について、小児救急



救急体制の充実を

は市民病院と伊勢崎佐波医師会病院で対応していますが、対応できない時には、前橋医療圏の輪番制病院の協力を

その他の質問

・仮称羽黒小学校建設について



健全な財政運営を

得ています。また、一般の傷病者等は、群馬県救急医療情報システム及び伊勢崎佐波地域医療圏空床情報等を活用し対応しています。なお、平成21年1月1日から群馬県ドクターヘリコプターの実用運行が開始され、より広域救急体制の充実が図られます。

次に、特別医療制度の導入について市民病院では、昼間・夜間に限らず本人の申し出と患者の状態を総合的に判断した上で、診察をする体制をとっていることから、他の病院の状況を見ながら研究したいと考えています。

その他の質問

・波志江PA周辺整備について
・華蔵寺公園の現状と将来像について

生活排水処理向上対策と 雨水幹線の整備状況について

伊勢崎クラブ

小暮利明

質問

県は水質汚濁防止法に基づき、平成14年2月12日、下水道処理区域を除く伊勢崎市域を生活排水対策重点地域に指定しました。

汚水処理人口普及率は、平成16年度の16・46%に対し、平成20年度は55・9%の見込みということですが、平成22年度には63%の目標が掲げられています。この目標に沿って計画が進められていると思いますが、今後の見通し

について伺います。

また、雨水幹線の整備状況についてお聞きます。

答弁

本市における生活排水処理対策は、公共下水道、農業集落排水、コミュニティプラント及び合併処理浄化槽による生活排水処理を推進しています。総合計画に掲げている平成22年度の汚水処理人口普及率の目標値は63%で、今後は目標値達成に向け、公共下水道地区及び農業集落排水地区については、財政状況や地域性等を考慮しながら計画的に整備を進め、また、合併処理浄化槽地区については、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への切りかえに対する補助制度を充実し、合併処理浄化槽の普及を促進し、普及率の

向上を図りたいと考えています。

次に、公共下水道雨水幹線の本年度の整備状況ですが、境地区は中央排水区と平塚排水区を合わせ、延長760メートル、また、東地区の西川排水区においては、延長927メートルを整備する予定です。

なお、あずま南小学校の南側にある調整池の予定地の部分は、早川から上流に向け整備を進めており、その先の工事についても分割工事として、現在整備を進めているところです。

今後も、財政状況、緊急性及び費用対効果等を考慮しながら、計画的に整備を進めたいと考えています。

その他の質問

既存スポーツ施設の 有効活用について

伊勢崎クラブ

吉山 勇

質問

スポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体をつくり、友情と触れ合いの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力となります。本市はスポーツ都市を宣言しており、今後も発展し続ける伊勢崎市にとって大変有意義であり、スポーツ振興、スポーツ推進により、本市を内外に向けてアピールする新たな魅力にしてい

くいくべきではないかと考えます。

本市では、各運動施設で毎年2月に、施設利用の調整会議を持ち、年間を通じてそれぞれの大会や試合等が行えるようにしていますが、この各地区での調整会議を一元化することで、施設の選択肢が広がり、これまでそれほど利用しなかった地域の施設を利用することで、地域の一体感を醸成していくことにもなると思います。そこで、調整会議の一元化について、また、利用者の利便性を図るため、施設予約の電子化について考えをお聞きます。

答弁

利用団体の現状については、華蔵寺公園運動施設管理事務所が113団体、赤堀運動施設管理事務所が42団体、あずま運動施設管理事務所が39団体、境運動施設管理事務所が50団体



円滑な施設利用の方策を

の利用があり、施設利用を円滑に運営するため、運動施設管理事務所ごとに毎年2月に団体利用調整会議を開催し、

各団体が平等に施設予約できるよう利用者の利便を図り、効率的な施設予約ができるように対応しています。今後の一元化については、合併以前から、運動施設管理事務所ごとの予約方法や利用団体の取り扱いが異なっているため、利用団体との調整等を図りながら検討したいと考えています。

次に、予約の電子化については、調整会議出席利用団体が244団体、利用施設が46施設あり、運動施設管理事務所ごとに予約方法が異なることから、調整を図りながら検討を進めたいと考えています。

その他の質問

・入札・契約業務について



排水対策の現状は

・広報広聴の機能充実について
・高齢者の社会参加支援について
・内環状線の整備促進について

不況に対する支援策について

伊勢崎クラブ
堀込 清孝

質問 今日の不況は、アメリカのサブプライムローンという住宅バブルから金融危機に陥り、世界大恐慌の瀬戸際にあるとも言われています。国内でも株価の暴落や円高等によって、これまで日本経済を支えてきた自動車関連産業を初め、家電製造業等の大幅な減収や、非正規社員や正規社員の解雇、来春の採用予定者への内定取り消しなどが報道されています。そこで、本市

の対応策についてお聞きします。

答弁 中小企業者に対する市制度融資資金の中には、中小企業活性化資金があります。この活性化資金は、信用保証協会の保証付で1・9%の運転資金として利用できるものであり、本年度ははまだ利用が少ないことから、そのほかの融資資金とともに十分活用が可能であると考えています。

また、政府が8月に決定した安心実現のための緊急総合対策による新しい保証制度である、原材料価格高騰等緊急保証が10月31日から開始されています。これまで経済産業大臣が指定していた185業種が545業種に拡大され、売上減少等の認定要件も3%に緩和されましたが、さらに11月14日から

は618業種に対象が拡大されています。これら指定業種への融資は責任共有制度の対象外であり、保証協会の100%保証が受けられることから、中小企業対策として積極的な活用が図られるよう広報紙などを通して周知するとともに、迅速な認定業務の遂行に進めたいと考えています。

また、小口資金に関しては県の信用保証協会の保証枠として、9月末現在で21億3900万円余りあることなどから、現行制度での対応を基本に中小企業への支援を図りたいと考えています。

その他の質問

・いせさきFM769（ナナロック）開局に伴う支援策について

健康推進施策について

伊勢崎クラブ
臂 泰雄

質問 新型インフルエンザの感染拡大を阻止するには国民一人ひとりの備えが大切であり、感染症の危険性を十分理解し家庭や職場で必要な対策を実行することが求められるとの新聞記事がありました。6月の広報紙でも市民への周知が図られています。これまでの取り組みについてお聞きします。

行政と市民が新型インフルエンザに対し共通の認識を持つことが重要であ

ると考えます。一度の広報で十分とはならないと思いますので、市民に対する周知徹底について考えをお伺いします。また、県より社会対応マニュアルが出されていますが、市独自の対応マニュアルの策定についての考えをお聞きます。

さらに、高齢者や子供たちへの被害を最小限に食い止めるには、地域の方の力が必要と考えられることから、地域、行政、医療や学校関係者との連携についてお伺いします。

答弁 本市では、情報収集や県及び関係機関との調整、広報紙やホームページによる周知など行ってきましたが、このたび、伊勢崎市地域防災計画に新型インフルエンザ対策を位置づけ、全



新型インフルエンザ対策は

庁的な取り組みを推進するため、伊勢崎市新設インフルエンザ対策推進会議を設置しました。今後は、この会議に

・街頭防犯カメラについて
・伊勢崎市民病院経営検討審議会について



制度融資の有効活用を

において伊勢崎市新型インフルエンザ行動計画と対応マニュアルの策定を緊急優先課題として取り組みます。

新型インフルエンザ発生時には、地域や医療機関、学校関係機関など、各関係機関や団体との連携体制の構築が重要となることから、県と調整を図りながら、行動計画策定の中で整備していきます。さらに、わかりやすい情報を広報紙やホームページ、パンフレットの作成等により提供し周知を図ります。

その他の質問

・洪水ハザードマップについて
・地球温暖化防止対策について
・有害情報フィルタリングについて

小菊の里について

新政クラブ

藤見 勤

質問

第25回全国都市緑化ぐんまフェアinいせさき、秋の開催が10月4日から11月9日まで行われ、リレー会場の一つである、あかぼり小菊の里も10月19日から11月4日まで盛大に開催されました。2万3000平方メートルという広大な面積に玉菊の祭典が繰り広げられ、16日間に12万人以上の人が訪れました。また、日本一の小菊の里ツアーと銘打ってバスでの見学者が関

東一円から来場したとのことでした。

しかし、6年間続いた、あかぼり小菊の里が平成21年以後は続けていけるか危ぶまれていることに對し、このまま見過ごすことはできません。市長は波志江沼環境ふれあい公園などを整備し、観光都市を目指して施設を整備してきました。本市を知ってもらい経済効果を上げることに全力投球してきたと思います。このような中、小菊の里がピンチに立たされていることに憂慮するとともに、絶対に続けなければと認識しています。そこで、今後の維持管理について考えをお伺いします。

答弁

あかぼり小菊の里は、赤堀地域の基幹産業である農業の発展と地域の活性化を目的として、地域住民の皆

様によるボランティア活動により平成15年に開園されました。

現在では、市民はもとより首都圏からも多くの来園者が訪れる秋の花名所として、本市の重要な観光資源として位置づいています。

改めて小菊の里を運営されている、小菊の里づくりの会の皆様に対して心から敬意を表します。

本市としても、事業に対する補助金の交付や、県内外及び首都圏に広告宣伝を行うなど、活動の支援を行ってきました。ぜひ、市民の皆様により築かれてきた貴重な観光資源として、今後も素晴らしい小菊の里を運営していただけるよう、支援を行っていききたいと思いをします。

その他の質問

・放課後児童健全育成事業について



積極的な活動支援を

北部環状線整備事業について

新政クラブ

羽鳥 基宏

質問

北部環状線は市の内環状線を構成する主要幹線道路であり、地区間の重要な連絡軸として計画的に事業の推進を図っているとうかがいましたが、現在の状況をお聞きます。

また、前橋館林線から足利伊勢崎線間、おおむね平成23年度の完成を目指すとうかがっていますが、完成時期についてお聞きます。さらに、足利伊勢崎線から桐生伊勢崎線までの83

0メートルの区間は、距離も長いため完成には長い期間を要することが考えられますが、完成時期についてお伺いします。次に、四ツ葉学園や伊勢崎警察署の移転工事も始まり国道462号線の渋滞が懸念されます。渋滞回避のためにも鹿島町地内国道462号の交差点から市道伊1級7号線までの先行着手の考えをお伺いします。

答弁

前橋館林線から足利伊勢崎線間、昨年度までに実施した道路詳細設計と用地測量に引き続いて、移転対象となる補償物件の調査と用地買収単価の根拠となる不動産鑑定評価を実施し、今後の事業実施に向けた作業を進めています。完成時期については、道路整備に係る国の政策動向が不透明で

あり、市全体の投資的財源も減少傾向にあることから事業計画を延伸せざるを得ないと考えています。



北部環状線の早期整備を

また、足利伊勢崎線から桐生伊勢崎線間においては、第2期整備区間として位置づけられておりますが、第1期整備区間の進捗状況を見ながら検討していきます。次に、鹿島町地内国道462号の交差点から市道伊1級7号線までの区間の先行着手については、桐生伊勢崎線から国道462号までを一体的な整備区間とする必要があるものと考えています。

今後、国の政策動向を注視し、交通需要や整備状況などを勘案しながら、長期的な課題としてとらえていきます。

その他の質問

・スポーツ都市宣言にふさわしい施設整備について

子宮頸がんへの支援対策について

公明党
田村陽子

質問

近年、20歳から30歳代の若い女性の子宮頸がんでの死亡数がふえているとのことですが、理由として検診の効用や周知が徹底されていないことがあると思います。そこで、子宮頸がん検診の受診の状況と受診率向上に向けての啓発活動についてお聞きします。

また、子宮頸がんは検診と予防ワクチンの接種により100%予防が可能ながんであり、来年には予防ワクチン

を使用できる可能性が見えてきました。この秋から冬にかけて全国の産婦人科外来には、あなたは検診を、お嬢さんにはワクチンを、というメッセージが書かれたポスターが掲示されるそうです。子宮頸がんで亡くなる女性をゼロにするために予防ワクチンと検診の普及についての考えをお伺いします。

答弁

本市では、20歳以上の女性に毎年、集団及び個別方式で子宮頸がん検診を実施し、早期発見に努めています。平成19年度の受診者は7129人、受診率15.2%で年々増加しています。また、本年度から妊婦健診の検査項目に頸部がん検査が導入され、若い世代の受診が推進されています。従

来より重点事業として、未受診者への通知発送、各種イベント、乳幼児健診及び窓口相談時のチラシや啓発ティッシュ配布、広報紙への掲載等に取り組んできましたが、さらに、関係部局との連携も図り、多様な場面で受診勧奨を拡充していきます。

国内においては、いまだワクチンは認可されていませんが、新聞報道では本年度中に認可の見通しもあるとのこと、国の動向を踏まえ、対応を検討したいと考えています。

今後も市民への周知に努め、子宮頸がんに対する理解が深まるようさまざまな活動を推進していきます。

その他の質問

奨学金について

公明党
内田彰

質問

深刻な経済情勢を受け、国や地方自治体からの奨学金を活用する人がふえています。本市が合併時に制定した奨学金制度は、大学進学者だけでなく高校進学者も対象とし、学力要件もない先進的な制度ですが、残念ながらその貸与額は高校の場合月額にして1万円です。これは、公立高校の生徒であっても毎月9900円の授業料の支払いで費消され、教科書すら購入で

きないという状況です。そこで、大学進学者などに対する国の奨学金が大きく拡充された現在、この奨学金制度を高校進学者に重点を置いた事業に見直し、進学の意欲と能力を持ちながら、経済的理由により高校への進学を断念せざるを得ない子供たちに対する貸与額を大幅に拡充し、教育の機会を与えていくべきと考えます。市の奨学金についての考えをお伺いします。

答弁

本市奨学金制度の目的は、教育の機会均等を図り、社会に寄与貢献できる有用な人材を育成することです。現在、制度の利用者は、高校生7人、大学生33人の計40人です。高校進学の申請者は、過去5年で12人と少人数であり、審査の結果ほぼ全員に貸与して



奨学金制度の見直しは

います。一方、大学生の申請者は75人と多数いる状況を考慮しますと、現行制度を維持していくことが必要である

と考えています。

さらに、高校生の貸与額については、原則自宅からの通学を想定し住宅費等は不要と考え、最も基本的な部分である授業料分を設定しています。

より多くの人を利用する機会を確保することや、返済時に負担が多くなること等を考慮し、現行どおりで実施をしたいと考えています。

その他の質問

・地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金について
・定額給付金について
・携帯電話のリサイクル推進について
・指定ごみ袋における企業広告の掲載について



子宮頸がん予防の啓発を

・子育て支援について
・高齢者支援について
・若者や女性の就職支援について

急激な景気悪化から市民生活を守る 対策について

日本共産党議員団

北島 元雄

質問 急激な経済悪化の中で、貧困が次世代へ引き継がれることが社会問題になっています。親がどんな経済状態であつても、子供の教育を受ける権利を保障することは自治体の責務です。

本市では、合併以降この役割をおろそかにしている心配があります。

そこで、今年度の就学援助の受給者と合併前の受給者比較、県内の旧五市の状況についてお聞きします。また、

子供の教育を受ける権利を保障するための対応策についてもお聞きします。

答弁 本市の就学援助費の平成20年5月1日現在の対象者と認定割合は、小学校327人、2・44%、中学校218人、3・59%です。

旧五市の認定割合は、前橋市では小学校8・12%、中学校9・43%、高崎市では小学校4・25%、中学校5・73%、桐生市では小学校5・87%、中学校8・85%、太田市では小学校3・70%、中学校6・29%です。

また、合併前の平成16年5月1日現在と平成20年5月1日現在の認定者数を単純には比較できませんが、小学校で163人の減少、中学校で72人の減少となっています。

全国学力・学習状況調査について

正論の会

伊藤 純子

質問 本市は学力テストの結果を、全国平均値よりも上回っている、とした公表方法を採用していますが、それは一体、どの科目のどのような問題が得意で、どのような問題が苦手なのか、児童・生徒たちの学力や生活態度について、何を改善しなければならいいのか、実に不明瞭です。テスト結果を厳粛に受けとめ、子供たちの習熟度を知る上で必要なデータにすることは

当然のことであり、情報開示は、学力向上への処方せん的な役割が果たせるなど、教育指導の改善への近道ではないかと思われまふ。競争の激化や学校の序列化の批判を恐れる余り、多くの自治体が過剰なほど結果公表に慎重になつていふように見受けられます。

そこで、本市の結果公表の考え方、旧市町村別・学校別結果の情報開示について、また、今後の方針についてお聞きします。

答弁 結果の取り扱いについては、各学校が教科・領域等における具体的な指導の改善策を見出し、教育指導や学習状況の改善に役立てるために、子供自身や保護者等に数値を含めた結果を知らせています。各家庭には、全国



調査結果の公表を

平均正答率と子供の得点が併記された採点用紙、学校全体のすぐれている点や課題の分析及び学力向上へ向けた取

本市教育委員会では、広報紙に就学援助制度の内容及び申請方法を掲載しお知らせしています。また、小学校の新入学保護者説明会で制度の説明を行ったり、全家庭にお知らせを配布するなど周知徹底を図っています。さらに、必要に応じて学級担任等が家庭訪問を行い、制度について再度説明し申請を促しています。また、民生委員の協力を得て、就学援助が必要と思われる家庭を訪問し、相談や申請の手助けを行うなどの対応に心がけています。

その他の質問

・さかい人づくりまちづくり基金財団との連携について
・観覧車建設請負契約解消にかかわる

調停受諾後の対応について
・高齢者等の移動のための交通対策について



子供の教育を受ける権利の保障を

組表、さらに、子供の学習の状況と担任の助言が記載されたセルフチェックシートの3点で知らせています。

次に、旧市町村別・学校別結果については、開示することで、学校の教育活動全体が評価されたり、学校や地域の実態を踏まえ、数値の比較だけがひとり歩きして誤解を招いたりするなどの弊害が考えられますので、平均正答率の公表は考えていません。今後、学力向上に有効な情報として活用し、これまでと同様に取り扱いたいと考えています。

その他の質問

・廃タイヤ等の不適切な投棄及び管理について

成立した議案

今回の定例会で成立した市長提出議案は、条例関係8件、平成20年度補正予算11件、人事案件1件、その他8件の、合わせて28件で、いずれも原案のとおり可決しました。

伊勢崎市児童館条例の一部を改正する条例の一部を改正

現在、赤堀児童館、赤堀南児童館、赤堀あさひ児童館、きく児童館、さざんか児童館及びあやめ児童館において行っている放課後児童健全育成事業の一層の充実を図ろうとすることに伴い、土曜日の実施、保育時間の延長、おやつ支給、指導員の増員等により児童の健康管理及び安全確保に努めようとするものです。なお、保育料は、他の放課後児童クラブと同様、月額1万円とするものですが、経過措置として、平成21年度に限り月額5,000円とするものです。

伊勢崎市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正

本年9月から供用を開始している、利根川佐波流域下水道佐波処理区関連伊勢崎市公共下水道の供用開始区域内

に建物を所有する者より、平成21年度から受益者負担金を賦課徴収するものです。

伊勢崎市指定道路図等作成業務委託請負契約を締結

- ・履行場所 伊勢崎市内全域
- ・請負代金 1億6,245万6千円
- ・請負者 大輝測量株式会社北関東支店

人事関係議案

◎人権擁護委員候補者の推薦について
吉澤唯志氏 (富塚町)

条例・その他の議案

▼伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例

▼伊勢崎市福祉作業所条例の一部を改正する条例

▼伊勢崎市営住宅管理条例の一部を改正する条例

▼伊勢崎市公共下水道条例の一部を改正する条例

▼伊勢崎市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例

▼伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例

▼群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

▼伊勢崎市農業共済事業の農作物共済畑作物共済及び園芸施設共済に係る無事戻しについて

平成20年度 各会計補正予算

(単位：千円)

区 分		補正前の 予 算 額	補 正 額	計
一般会計（第4号）		66,624,825	529,753	67,154,578
特 別 会 計 等	小型自動車競走事業費 （第2号）（債務負担行為）	事項 JKA交付金 （1号・2号猶予交付金分）	期間 平成21年度から 平成29年度まで	限度額 1,390,792
	学校給食センター事業費 （第1号）	1,819,449	△ 3,467	1,815,982
	国民健康保険 （第3号）	20,334,053	△ 11,506	20,322,547
	老人保健 （第4号）	1,415,383	△ 592	1,414,791
	後期高齢者医療 （第2号）	1,607,317	△ 197,449	1,409,868
	介護保険 （第2号）	10,690,701	53,472	10,744,173
	下水道事業費 （第2号）	4,578,973	94,921	4,673,894
	農業集落排水事業費 （第2号）	1,109,949	△ 850	1,109,099
	農業共済事業 （第2号）（収益的）	287,064	3,008	290,072
	病院事業 （第1号）（収益的）	12,582,432	166,558	12,748,990

報告事項

▼和訳及び損害賠償の額を定めること
についての専決処分報告について 2件

▼市営住宅の管理上必要な訴え(和解

▼市道路線の廃止について
市道路線の認定について 2件

▼伊勢崎市農業共済事業の集落営農等
推進奨励金の交付に係る特別積立金
の取崩しについて

▼公の施設の区域外設置について 2件

請願の審査状況

経済市民委員会付託

- 全額国庫負担による「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願(閉会中継続審査)
- 汚染米不正流通の実態解明とミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願(閉会中継続審査)

議員提出議案

今回の定例会に提出された議員提出議案は、意見書1件で12月17日の本会議で可決しました。なお、意見書については、内閣総理大臣ほか関係大臣に送付し善処を要請しました。

食品の安全対策の徹底強化を求める意見書

最近、食品の安全性に不安を抱かせるような事件が頻発しており、国民の食に対する関心はこれまでになく高まっている。

消費期限を過ぎた原料を使用した食品の製造、流通過程での産地偽装、消費期限の改ざん、輸入食品の安全性の問題など、憂慮にたえない状況にある。

今般発生した事故米穀の不正規流通問題は、残留農薬基準を超える米穀等が食用に転売された異常な事態であり、食という安全が当たり前でなければならないことに対する背信行為である。また、安心安全の原点である食に対する認識を軽視した大変重大な問題であり、流通先の公表、責任の所在等を明確にし、消費者に対し積極的な情報提供を行い、事実関係を早期に解明する必要がある。

よって、国においては、信頼できる食品の製造・検査・流通体制を確立させ、食の安全を確保する対策の徹底強化を講じられるよう強く要望する。

- 燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願（閉会中継続審査）
- 陳情の処理状況
- 経済市民委員会送付
- 小口資金融資制度の改善と信用保証料補助の引き上げについての陳情
- 建設水道委員会送付
- 国民の「安心・安全」を切り捨てる「地方分権（道州制）」をやめ、関東地方整備局の事務所出張所の存続を求める陳情

議員辞職

三好直明氏が12月2日付けで市議会議員を辞職されました。

常任委員会・議会運営委員会

平成20年12月3日現在

委員会名	総務	文教福祉	経済市民	建設水道	議会運営
定数	9人	9人	8人	8人	10人
委員長	高橋 栄一	内田 彰	田島 勉	小暮 利明	新藤 眺旦
副委員長	伊藤 純子	堀込 清孝	臂 泰雄	田村 陽子	吉山 勇
委員	金井 秋雄	小谷原 達夫	阿久津 尚子	定方 英一	須永 武久
	北島 元雄	佐藤 幸夫	須永 武久	新藤 眺旦	田村 陽子
	斎藤 優	野田 文雄	松本 輝寿	田島 喜八	野田 文雄
	田村 幸一	長谷田 公子	本木 経明	原 智	長谷田 公子
	羽鳥 基宏	堀地 和子	森田 修	原田 和行	原田 和行
	大和 溥	（欠員）	矢島 征司	藤見 勤	臂 泰雄
	吉山 勇	（欠員）			堀地 和子
					森田 修

特別委員会

平成20年12月3日現在

委員会名	行財政改革	都市間連携対策	東毛広域幹線道路等整備対策	少子高齢化対策	議員定数調査
定数	8人	8人	8人	8人	11人
委員長	吉山 勇	原 智	小谷原 達夫	堀込 清孝	野田 文雄
副委員長	田島 喜八	伊藤 純子	阿久津 尚子	臂 泰雄	田村 陽子
委員	野田 文雄	内田 彰	金井 秋雄	佐藤 幸夫	伊藤 純子
	羽鳥 基宏	小暮 利明	北島 元雄	高橋 栄一	北島 元雄
	原田 和行	新藤 眺旦	定方 英一	田村 幸一	新藤 眺旦
	藤見 勤	須永 武久	田島 勉	田村 陽子	須永 武久
	大和 溥	松本 輝寿	堀地 和子	長谷田 公子	田村 幸一
	（欠員）	本木 経明	森田 修	（欠員）	羽鳥 基宏
					原田 和行
					臂 泰雄
					吉山 勇

※委員会、会派構成に変更がありましたのでお知らせします。

会 派 別 名 簿

平成20年12月2日現在

伊勢崎クラブ

○原 田 和 行	野 田 文 雄	須 永 武 久	吉 山 勇
本 木 経 明	佐 藤 幸 夫	新 藤 暁 旦	金 井 秋 雄
大 和 博	定 方 英 一	高 橋 栄 一	堀 込 清 孝
田 島 勉	小 暮 利 明	小 谷 原 達 夫	臂 泰 雄
矢 島 征 司	斎 藤 優		

新政クラブ

○田 村 幸 一	羽 鳥 基 宏	原 智	森 田 修
堀 地 和 子	藤 見 勤	松 本 輝 寿	

公明党

○田 村 陽 子 内 田 彰 阿久津尚子

日本共産党議員団

○北 島 元 雄 長谷田公子

正論の会

○伊 藤 純 子

希望の会

○田 島 喜 八

○は代表者

第5回 臨時会

第5回臨時会が、11月7日から11日の、会期5日間で開催されました。市長提出議案は3件で、いずれも原案のとおり可決しました。また、議員提出議案は1件で原案のとおり可決しました。

調停案の受諾について

本市及び泉陽興業の間で締結した合

併記念交流施設整備工事観覧車建設請負契約を解除することに関し、調停委員会から提示された調停条項案を受諾するものです。

調停案の受諾については記名投票が行われ、賛成30票、反対2票で可決しました。

平成20年度伊勢崎市一般会計補正予算(第3号)

解決金(9672万2500円)の財源に充てるため、必要な措置を講じ

るものです。

平成20年度伊勢崎市一般会計補正予算(第3号)については記名投票が行われ、賛成30票、反対2票で可決しました。

市長等の給与の特例に関する条例

合併記念交流施設整備工事観覧車建設の請負契約を解除することに対する責任の所在を明白にするため、市長を初め副市長及び教育長の給料月額を減額しようとするに伴い、市長等の給与の特例を定める条例を制定するもので、平成20年11月分から平成21年1月分までの3カ月間の給料月額をそれぞれ減額するものです。

市長	給料月額の50%
副市長	給料月額の40%
教育長	給料月額の30%

市長等の給与の特例に関する条例については記名投票が行われ、賛成28票、反対4票で可決しました。

報 告 事 項

和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分(和)の報告について

4件

市営住宅の管理上必要な訴え(和解を含む)の提起についての専決処分の報告について

3件

議員提出議案

市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例

市議会の議員の議員報酬を、平成20年11月分から平成21年1月分までの3カ月間、5%減額するものです。

市議会会議録をご覧ください

市民の方が会議内容を確認できるよう、議会の会議内容を記録した会議録を作成し、市内の施設へ配置しています。また、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

配置施設

伊勢崎市役所、赤堀支所、あずま支所、境支所、伊勢崎図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館、市民プラザ、ふくしプラザ



市議会議員の申し合わせにより、
個々の年賀状にかえて、本紙をもって
新年のごあいさつとさせていただきます。

請願・陳情

請願は、市民の皆さんが国・県または市に要望を述べることをいいます。
請願は、年齢や国籍などを問わず誰でもすることができますが、1名以上の紹介議員が必要です。
また、請願の内容や対象は特に制限はありませんが、実際には市議会の権限に及ぶ範囲のものでなければなりません。
形式については、下の様式を参照の上、作成してください。提出の方法は、郵便でもかまいません。
受理した請願書は、所管の常任委員会に付託し、そこで慎重に審議しますので、請願事項が2つ以上の常任委員会に関連しないよう注意してください。
2つ以上の常任委員会の所管にまたがるようなものについては、それぞれの常任委員会に個別に付託できるよう、別々の請願書にしてください。
陳情の場合も様式は請願書と同じですが、紹介議員は必要ありません。なお、受理した陳情は陳情送付表にまとめ、所管の委員会に送付します。

表紙	内容
請 願 書	〇〇〇〇に関する請願 趣旨(簡単明瞭に)
紹介議員 〇〇〇〇 (署名または記名押印)	平成 年 月 日 (提出年月日) 伊勢崎市議会議員 〇〇〇〇宛 請願者住所 〇〇〇〇印 (個人の場合その氏名、法人の 場合その氏名と代表者の氏名)

(A4版)

寄附禁止のルールを守りましょう

- ◆政治家は、選挙区内の人などに寄附をすることは禁止されています。
- ◆第三者が政治家を名義人とし、選挙区内の人たちに対する寄附をすることも禁止されています。
- ◆政治家の後援団体が選挙区内の人たちに対し行う寄附も、同様に禁止されています。
- ◆選挙人も候補者等に対し、寄附を求めることはできません。



葬式の花輪、
供花等



お祭りへの
寄附や差入



地域の行事
やスポーツ
大会への飲
食物の差入



落成式、開
店祝の花輪

3月定例会の予定は、決
まり次第ホームページで
お知らせします。

1月18日(日)は
伊勢崎市長選挙
及び伊勢崎市議
会議員補欠選挙
の投票日です



平成20年視察来訪

先進的な事例や特色ある施策を視
察するため、市議会等が本市の事業を
視察に訪れました。

1月15日 福岡県飯塚市議会
1月22日 愛知県安城市議会
1月31日 山口県山陽小野田市議会
4月9日 群馬県吉岡町議会
7月18日 愛知県春日井市議会
8月5日 鳥取県鳥取市議会
8月5日 岡山県倉敷市議会

調査事項

- 公営競技事業の運営
- 交通安全政策
- 波志江PA及びスマートICの大型
車対応
- 下水汚泥のバイオマス発電
てくてく・りんりんプラン
- 伊勢崎市民病院
- 介護予防促進事業

10月21日 熊本県八代市議会
10月22日 神奈川県秦野市議会